

ニュースレター No.87

会長挨拶

一般社団法人 福岡県助産師会 会長 佐藤 香代



立春の候、暦の上では春ですがまだ寒い日が続いています。しかし、徐々に日が長くなり花だよりもちらほら聴かれ、春の訪れも近いと感じます。皆さま、お元気でご活躍のことと存じます。

早いもので、2024 年度も終わりが近づいてきました。振り返ると今年
は飛躍の年であったと感じています。

4 月には「子育て支援電話相談（SOS 電話相談）」「福岡県プレコンセプションケアセンター」の開設、5 月は「助産師が伝える包括的性教育・いのちの教育」研修が開始し、2025 年 2 月で 10 回シリーズを終了しました。毎回 40 人が対面研修を受け、いよいよ 2025 年 4 月「福岡県助産師会 包括的性教育認定登録制度」が開始されます。福岡県助産師会として行う包括的性教育やプレコンセプションケア講座は、登録した陣容が講師を務めることとなります。プレコン事業開始に伴い、学校だけでなく企業からもタイアップの仕事（健康経営）が来ています（福岡県助産師会が運営する福岡県プレコンセプションケアセンター—受託から運営まで—日本助産師会機関誌 助産師 2025 年 2 月号 p67-73）参照。その要請に応えるためにも、2025 年もぜひ多くの方に包括的性教育研修を受けていただきたいと思います。

産後ケア事業においては、福岡県助産師会と契約している市町は 23 となりました。今後も増加する予定です。またうれしいことに、産後ケア事業の参入等を考え入会者が増え、会員数は毎月増加の一途をたどっています。今年は、福岡県と共同で産後ケア契約書等の県内統一様式を検討し、書式の統一化を実現することができました。福岡県子育て支援課が積極的に動いてくださったおかげです。本当に感謝しています。また「産後ケア事業の事故対応に係る安全管理マニュアル」ももうすぐ完成し、皆さまのお手元に届く予定です。

2025 年 1 月 30 日、福岡県妊娠・出産包括支援体制整備検討会において、助産師会は以下のことを発言しました。産後ケア事業の単価があまりにも低額で、事業としてやっていけない。このままでは、産後ケアをやめる施設が多発する。単価のアップと県内の料金や利用時間等の統一化を行ってほしいと訴えました。書式のみでなく利用条件も複雑であり、事業を受ける側に多大な負担がかかっています。会に参加した医師の方々からも同様の意見をいただきましたし、行政からは、契約料金が安いことは重々承知している、料金を統一した方が市町としても進めやすいと賛同のご意見をいただきました。したがって、本年度は契約料金の統一化に向けて動く予定です。子育て支援課は、2025 年度は県内統一価格の設定に向け活動すると力強い発言をしてくださりました。助産師会は産婦人科医会と連携し行政や県と協議を行い、実現に向け進める所存です。

助産師の未来は明るい！そう実感できた 1 年でした。今年も福岡県助産師会は、未来に夢を抱き前進していきます。ぜひ一緒に活動しましょう。

委員会活動 報告

災害対策委員会 神崎 秀子

2月8日（土）助産師会館にて、震災を想定した防災訓練を実施しました。

緊急地震速報の警報音が鳴り響き、参加者一同緊張感が走る中、訓練が開始されました。一時停電後、電気が復旧した直後に火災が発生したという想定で、参加者は落ち着いて避難経路を確認し、人命を最優先に避難誘導を行いました。

今回の訓練では、火災が予期せぬ場所から発生する可能性と震度6の地震が同時に発生している状況下での適切な判断が求められました。参加者14名全員が無事に避難を完了した後、消火器による消火訓練も行いました。消火訓練では、初期消火の重要性や消火器の取り扱い方法を学び、万が一の事態に備えました。

今回の訓練を通して、地震直後に避難する際は、二次災害防止のためにまずブレーカーを落とすことが重要であることを学びました。また、日頃からの防災意識の向上や、避難経路の確認なども重要であることを再認識しました。

来年度は、東日本大震災時に被災され、看護職として支援活動もされた先生をお招きし、災害対策研修会を開催する予定です。皆様の参加をお待ちしております。



組織強化委員会 浦部 きくえ

昨年 11 月 30 日に国際母子手帳委員会事務局長の板東あけみ先生を講師にお迎えして、国際助産師の日イベント『リトルベビーハンドブック講演会』を開催し、県内外から 73 名の方にご参加いただきました。ちいさなあかちゃんを迎えた母親が抱える思いを知ることができ、私たち助産師がどう関わるのかを考える機会となりました。当会へ、ふたご手帖を一冊いただきました。

1 月には全会員を対象に【満足度アンケート調査】を実施いたしました。ご回答にご協力いただきありがとうございました。回答率は 19.7%でしたが、会への要望、その他多くの貴重なご意見をいただきました。理事会と協力して、皆さまからのご意見を活かしていきたいと思ひます。

助産師養成学校は国家試験が終了し、卒業式が目前です。残り 6 校に訪問し、数ヶ月後には同じ助産師として活動される学生の皆様に福岡県助産師会の魅力を伝え、入会案内をしてまいります。

福岡県助産師会のスローガンである『つながる いのち ひと 組織』を合言葉に活動していく仲間をさらに増やしていきたいと思ひます。



安全対策委員会 松浦 栄梨子

安全対策委員会では、今年度より部会問わず共通様式の「助産師業務安全管理評価表」（日本助産師会安全対策小委員会作成）を活用する運びとなりました。会員の皆様には、自施設の安全管理体制について定期的に振り返り必要時改善を行う、貴重な機会としてご活用いただきたいと思います。

また、2月22日（土）には第2回安全対策研修会を開催予定です。「福岡県助産師会における産後ケア事業の実態と課題～安全対策強化に向けて～」のテーマで、昨年度に安全対策委員会で行った研究について前安全対策委員の安河内理事よりご報告いただきます。福岡県では、産後ケア事業に関する安全管理マニュアルを作成中と伺っております。今後も安全面に配慮しながら助産ケアを提供できるよう、一助産師としてまた組織全体としても安全意識の向上に努めていきたいと思ひます。

三部会報告

助産所部会 田嶋 昌枝

令和6年度の年度末になり、助産所部会の一年の活動を振り返りまとめます。

福岡県助産師会として市町村代表者会議に出席し、助産院で健診を受ける妊婦が使いやすい妊婦健診助成券の改善、産後健診助成等について申し入れを行いました。また福岡県庁子育て支援課担当者と嘱託医問題や産後ケアの現状と問題点について話し合い、改善申し入れを行いました。

助産所部会としては各助産所の施設見学を兼ねて、計4回の部会会議と研修会・交流会を実施しました。研修会内容は①助産院施設の安全管理自己評価と他者評価の実施 ②各助産所の産後ケアの現状と問題点について ③自然分娩時に有効な呼吸法についてなど多岐にわたった情報の提供・共有ができ、会員から高評価でした。

令和7年度も会員の要望に応えた活動計画を作成、実践したいと検討中です。今後共どうぞよろしくお願いいたします。

保健指導部会 松浦 栄梨子

保健指導部会では、12月15日（日）に保健指導部会交流会を助産師会館で開催いたしました。今回は妊娠・出産包括支援委員会の豊田委員長より産後ケア事業の実情と手続きについてもご説明いただきました。他部会会員も含め、43名の参加があり、会員の産後ケア事業受託についての関心の高さが伺えました。交流会では、実際に産後ケア受託会員と今後検討している会員との情報交換や会員の活動状況の共有等、地区や部会、経験年数を越え対面で交流できる機会を持てよかった、とのご意見を多数いただきました。

今後も交流の場を設け情報交換を行い、積極的に研修案内も行いながら、部会全体で学び合っていきたいと思っております。

勤務助産師部会 村田修子

去る1月26日アクサ生命のファイナンシャルプランナー澤江正明氏による「助産師のためライフプランセミナー」を開催しました。参加者は18名でした。

研修会では、ライフプランニングの重要性、国が資産形成を進める背景、お金について（NISA・iDeCoなど）、長期積立分散投資について学びました。

研修会後のアンケート結果では、「自分のこれからについて考える機会となった」「経済セミナーは必要だと思う」「これからも定期的に開催してほしい」などの感想がありました。

研修会後の交流会では勤務助産師、開業助産師が互いの連携について熱く語り合う、大変有意な時間が持てたと思っております。

更に今回の講師は自宅分娩に立ち会った経験があり、その際関わったのが偶然にも福岡県助産師会の助産師でした。また、同行スタッフの方も助産院（鹿児島県）での出産経験があり、助産師に対する特別な思いをお持ちでした。このお二人にも交流会に参加していただき、助産師の熱い思いや経営に関する悩みを聞いていただきました。

交流会後のアンケート結果では、産後ケアについて情報を得ることができ、みなさん熱心でパワーがあり、楽しかった。助産師の未来は明るいと思った！などの感想がありました。

“お金・お金“という聞こえは悪いですが、私達が夢を実現させるため、人生を生き生きと楽しく暮らしていくためには必要不可欠なものでもあります。今回、希望者には後日、澤江氏のライフプラン無料相談を受ける事ができます。自身のお金の運用次第で今後の人生も変わります。その一助としてこの研修会が皆様のお役に立てたのではないかと思います。

研修会開催にあたり、ご協力いただきました方々に感謝いたします。

“助産師の皆様、もっとも〜っと輝きましょう!!”



福岡県の産後ケア事業が益々活気づく為に必要なこと

妊娠出産・包括支援委員長 豊田 晴子

前回のニュースレターには、自治体によって様式が異なる問題を記させて頂きましたが、今回は朗報です。1月末、県のご担当者様より『産後ケア事業に係る共通様式について』の依頼文を各自治体へご送付頂いたことにより、急ピッチで書類様式が統一方向に進んでいます。年度末のお忙しい中、ご協力頂いた皆様に心より感謝申し上げます。

福岡県助産師会では、現在90近い産後ケア事業受託施設が令和7年度に向けてスタンバイ状態です。地域で母子やそのご家族とゆっくり向き合うことができる産後ケア事業に、私は魅力を感じています。

産後ケア事業の対象期間は1歳の誕生日前日までとなっています。1歳の誕生日前日までは、特に成長発達が目まぐるしく、母子やそのご家族に伝えなければならないことがたくさんあります。そのため、助産師は自己研鑽を続けています。それらに費やす時間と研修料金が産後ケア事業の料金に反映されて欲しいと切に願います。

先日、次のステップであります県内統一料金に向けて、全市町村の契約料金を契約時間で割り、時給換算してみました。残念ながらデイケアやショートステイは特にですが、福岡県の最低賃金より安いところもあります。産後ケア事業をご利用される母子側からみると、令和6年度は特に、県の補助金によって自己負担額が安価となり、利用しやすくなりました。

一方、受託施設の中でデイケア・ショートステイをメインに実施している施設では「お母さんたちのことを考えると契約を続けていきたいが、この金額では次年度の継続契約は厳しい」と断念する受託施設がでてきています。

地域によって産後ケア事業料金の格差が生まれ、激しくなっています。産後ケア事業が持続可能になる料金体系かつ（料金向上に伴う多事業種参入による）質の低下防止を行う必要があります。そのためにも、県を含む行政及び産後ケア実施施設が集まり、積算根拠をもとに話し合う必要があると私は考えております。それこそ今後、産後ケア事業を継続可能にしていくことの大きな解決項目だと感じています。

福岡市マタニティスクール 報告

マタニティスクール運営責任者 福澤 雪子

福岡市委託事業「働くママとパパのマタニティスクール」は、2024年度1月までに1424名の申し込みがあり155名の方が参加されました。

【参加動機】は、妊婦は「パートナーと共に参加したかった、パートナーに体験してほしい」と併せて52%、パートナーは「父親参加の教室があったから、妻に参加を求められた」が併せて57%を占めています。【沐浴体験の満足度】は妊婦・パートナー共に「良かった」が100%、【赤ちゃんのいる生活に関する話の満足度】は妊婦・パートナー共に「良かった」が96%と高く、赤ちゃんを迎える生活のイメージを掴んで頂いているようです。今後も会員の皆様のご協力を頂きながらマタニティスクールを実施していきたいと思っております。

なお、会館建て替えに向けた代替施設探しも大きな課題です。適当な代替施設をご存じの方がおられましたら福岡地区理事にお声掛けください。

助産師が伝える包括的性教育・いのちの教育 連続研修

包括的性教育推進事業委員会 道園亜希

今年度5月にスタートした本研修も、先日2月9日(日)をもって全10回の研修を終了しました。最後の研修では、デートDVをテーマにとりあげ、被害者・加害者・第三者(保護者や友人)から相談があった場合の基本的対応とロールプレイを、午後からは全10回を通してのまとめを行い、全員で学びやモヤモヤの共有を行いました。参加者からは、「性教育の概念が変わった」「自分の人生の価値観が変わった」「家族に優しくなれた」という意見が聞かれました。性に関する教育を相手に届けるだけでなく、性教育実践者自身も自分の人生と向き合うきっかけになることがこの包括的性教育の特徴であるように思います。

また、今回この研修では「知識」だけでなく、学びを共にする「多くの仲間」を得ることができたのではないのでしょうか。私達実践者も安心を土台として、多くの人にこの包括的性教育を届けていくことができるよう、皆さんと手を取り合いながら引き続き研鑽を積み重ねていきたいと思っています。

今年度10回すべての研修を終え、福岡県助産師会包括的性教育認定講師となられた方々には、福岡県助産師会に依頼のあった性教育に講師として派遣致します。来年度も同様の研修を開催しますので、性教育を学びたい、ブラッシュアップしたいとお考えの皆様、ぜひご参加ください。メンバー一同皆様のご参加を心よりお待ちしております。



福岡県プレコンセプションケアセンター 開設から10ヶ月！

福岡県プレコンセプションケアセンター コーディネーター 佐藤 繭子

福岡県から委託を受け、4月30日に開設した福岡県プレコンセプションケアセンターは、約10か月を迎えました。この間、相談件数は1月末時点で250件に達し、月を追うごとに徐々に増加しています。プレコンセプションケアや当センターの認知度が広がってきたことを実感しているところです。

プレコンセプションケアの重要性は、助産師として十分に認識していますが、それを県民の皆さまに広く知っていただき、定着させることは容易ではありません。それでも、勇気を出してセンターに相談してくださる方々に、どのようにわかりやすく伝えればよいのか、そして安心してもらえるのかを模索しながら、スタッフ全員で日々意見を出し合い、試行錯誤を重ねています。学生向けの出前講座は、1月末で11校、約760名ご参加いただきました。残り2か月ですが、19校での出前講座の予定が入っております。

また、養護教諭や地域の保健師など関係する専門職の方々に向けた保健所での研修会も、8か所（+オンデマンド1か所）で実施し、総計313名のご参加をいただきました。参加者の皆さまからは、以下のような肯定的なご意見を多く頂戴しました。

「プレコンセプションケア研修を受けて、性教育に限らず、今後の人生において非常に重要な学びだと感じました。性的な内容については生徒に伝える際に難しさを感じることもありますが、人生設計にも関わる内容であると実感しました。今回学んだことを生徒に伝えていきたいと思えます。また、相談窓口があることも保健だよりを通じて生徒に周知していきたいです。」

このようなご意見は、私たちスタッフにとって大変励みになっています。今後もプレコンセプションケアを広く知っていただくための取り組みを、引き続き進めてまいります。



母子保健情報交換会

福岡県助産師会 副会長 吉田 静

2024年11月22日、2024年度母子保健情報交換会をKKRホテル博多にて開催しました。会には、来賓として福岡県や市町村の母子保健担当や医師の方々など多くの方がご参加くださり、助産師会からは理事、妊娠出産包括支援委員長などが参加し、にぎやかな会となりました。

佐藤会長より、産後ケアや包括的性教育、プレコンセプションケアなど福岡県助産師会の活発な活動が紹介され、来賓の皆さまより助産師会に期待する温かいお言葉を多くいただき、最後には余興として参加者皆で「ダンシングヒーロー盆踊り」を踊り、笑顔で交流を深めて閉会となりました。次年度も引き続き母子保健情報交換会を10月に開催を予定しております。多くの皆さまとお会いできますことを楽しみにしております。



地区活動を紹介します！

北九州地区理事 神崎 秀子

北九州地区では、10月20日及び11月17日に地区研修会（ハイブリット）・交流会を行い、「続・研究をやってみようステップ3、4」のテーマで、福岡県助産師会 副会長の吉田静先生に講演していただきました。

この研修は、昨年度好評であった「研究をやってみようステップ1、2」の続編とはなりますが、はじめからお話していただいたため、今回初めてご参加の方にも、わかりやすい内容でした。講演後、各々が関心のあることを題材に、どうすれば改善できるのかを考えるように問いかけをくださり、それを元にグループワークを行いました。参加者は自由に個人の意見を述べることができ、研究の進め方や考え方に対して、先生から一人ずつコメントをいただくことで、理解が深まりました。

終了後のアンケートで、日々の業務の中でも研究に結びつく項目が見つかった等のご回答をいただくなど、満足度の高さがうかがえました。

今回の研修会を通じて、改めて北九州地区の助産師は、それぞれ母子を思う気持ちが熱いことを実感しました。これからも、個性豊かで元気なメンバーと手を取りあって、地域の方々の困りごとに対してすぐにサポートができるよう、努めてまいりたいと思います。



筑紫地区理事 松藤 美由紀

筑紫地区では毎年1回「研修会と交流会」を開催しています。

今年度は2024年12月1日に、産前産後サポートセンターの心ゆるりにて、こぐま学園の野間康美講師をお招きし「親が発達障害を持つケースへの支援について」発達障害の基礎知識や障害別の対応の方法など講演していただきました。当日の対面での参加者は16名でした。

講師へ直接質問できる機会もあり丁寧に返答もしていただいた事で、参加者の理解も深まったのではないかと思います。アンケートでも満足度100%となりとても有意義な時間でした。

今年度より筑紫地区の会員は無料での参加としました。来年度も皆様の活動にお役に立てるような研修会を計画しています。地区外の方も参加可能ですので是非ご参加下さい。

九響 第4回マタニティコンサート

「0歳からのオーケストラ」 今年も開催

福岡県助産師会 会長 佐藤 香代

マタニティコンサートが今年もアクロス福岡イベントホールで行われます。期日は、4月20日(日)午前11時と午後2時半の2回公演です。マタニティチケットはなんと1000円!クラシックを身近に感じられ、家族で楽しめるコンサートとなっています。演奏中、子どもたちは踊ったり、走ったり、笑ったり、泣いたりで大忙し。自由にのびのびと過ごします。

今年も福岡県助産師会が後援、協力します。福岡県助産師会は第2回から「助産師コーナー」のブースを出して、相談や性教育グッズの展示を行ってきました。パパは妊婦体験ジャケットを着用しポーズ、子どもは赤ちゃん人形を抱っこして満面の笑み、ママは子宮や胎児モデルをしっかり見て触って、その後家族で写真撮影と大賑わいでした。救護室には助産師が待機、そして演奏の合間の会長の胎教トークと盛りだくさんです。

ぜひ、お誘いあわせの上、ご来場ください。

九響 第4回マタニティコンサート
喜びと不安でいっぱいな日々を過ごすママたちへ

0歳から入場可
アクロス福岡 イベントホール 地下2階
マタニティチケット、1,000円
一般、1,000円 | 一般、3,000円
4/20日

2回公演
午前11:00開演 | 午後2:30開演

九響マタニティコンサート2025
ベビーカー預かりのほか、ママにやさしい演奏会です。

妊娠5か月ごろから、胎児は外の音を感知できるようになります。

九州交響楽団
1953年創立。九州の音楽界をリードするプロのオーケストラとして、アクロス福岡での定期演奏会をはじめ、実演会やコンサート等の自主公演のほか、青少年向けのコンサート、学校やホール、全宅にも出張、フェスティバルなど、福岡県を中心に九州各地で年間約150回の演奏会を開催している。2024年度は、音楽教育者による、ミュージック・アドバイザーに随時委託が開始。これまで「福岡文化夜話、西日本文化賞、文部大臣後援文化芸術賞、福岡県文化賞を受賞。

TEL.092-823-0101
TEL.092-725-9112

福岡県助産師会 会長 佐藤 香代

全国劇場公開映画「恋ほおずき」(原作：諸田玲子 監督：浜本正機)の撮影が今年の3月からいよいよ始まることになりました。撮影は久留米市などで行われます。

2025年1月15日、映画製作開始に伴い、福岡県服部知事に表敬訪問を行いました。主演女優は田中麗奈さんに決定。久留米ふるさと名誉大使です。

浜本監督、キャスティングプロデューサー山田圭介さん、シンガーソングライター野田かつひこさん、アソシエイトプロデューサー広重貴子さんらが訪れ、私は福岡県助産師会会長として同席しました。福岡県助産師会はこの映画に全面的に協力し、後援しています。

江戸時代、子堕ろしを専門にする非合法の中条流の医師は「女医者」と呼ばれていました。吉原で働く女性、暴力で妊娠させられた女性、貧乏ゆえに産めない女性・・・、望まぬ妊娠で女性たちが不幸になることに耐えきれず、彼女たちを苦しみの淵から救いたいと、ご法度の女医者を営む江与と、それを取り締まる八丁堀同心 津田清之助がいつしか互いに惹かれあっていくラブストーリーです。この映画の主旨は中絶の有無を問うのではなく、時代に翻弄される女性の悲しみ・苦しみと同時に、女性の強さも描いたもので、このことは現代の女性にも通ずるものがあると思います。上映が楽しみです。



ホームページ会員登録のお願い

会員登録がお済みでない会員におかれましては、登録をお願いいたします！

手順は、福岡県助産師会 HP⇒助産師の方へ⇒会員登録について⇒会員登録フォームに必須事項の入力となります。

これまで、日本助産師会事務局から福岡県助産師会会員の皆様への情報提供手段として地区理事や各部会長を通して伝達しておりましたが、2022年9月より福岡県助産師会ホームページ内の「会員ページ」に掲載することになりました。会員ページにログインされないと閲覧制限しているページを見ることができません。

The screenshot shows the website header with the logo of the Fukuoka Prefecture Midwives Association (一般社団法人 福岡県助産師会) and navigation links for '福岡県助産師会について', '一般の方へ', '助産師の方へ', 'お問い合わせ', and 'マタニティスクール'. The main content area features a banner with the text 'HP会員登録について' and a background image of two hands holding each other. Below the banner, there are two columns of text under the heading 'HP会員登録について'. The left column contains the following text: '福岡県助産師会の会員の方は下記の会員登録フォームに必須事項をご入力いただきお申し込みください。HP会員登録していただくと、閲覧制限しているページを見ることができます。登録完了後、事務局で承認が完了しましたら会員ページにログインすることが出来るようになります。会員登録は無料（福岡県助産師会の会員の方のみ）です。' and a link '>>>登録はこちらから<<<'. The right column contains the text 'HP会員登録について' and a link '会員登録申込みフォーム'.

私たちは、働く皆様を「快適な眠り」で支えます。

東洋羽毛について詳しくはこちらをご覧ください



東洋羽毛 睡眠セミナー無料サービスのご案内

よく眠った人には、かなわない。

睡眠セミナー講師を無料で派遣いたします

東洋羽毛では、「睡眠健康指導士」の資格を有した社員が講師を務める充実したセミナーをご用意しています。正しい情報を得て睡眠習慣を見直し、イキイキと健康的な毎日を歩むお手伝いをさせていただきます。

*オンラインセミナーの開催も承ります。

《お役に立てる主な研修》

- **医療安全対策研修** 睡眠不足とヒューマンエラーの関係や、交代制勤務における睡眠のコツなど
- **学校保健委員会** 「学力」や「部活動」、「スマホ・ゲーム」と睡眠の関係
- **高齢者の睡眠ケア** 高齢者の睡眠マネジメントやこれだけは知ってほしい生活習慣

*他、施設内研修などご相談承ります（事前にお打ち合わせをお願いする事も可能です）

睡眠セミナー講師は状況に応じて専任予約制も実施しています。

●セミナー申し込みは、二次予約までお問い合わせください。お問い合わせ先は、東洋羽毛九州販売株式会社です。 <http://www.toyonagayama.co.jp/0210>



東洋羽毛九州販売株式会社 福岡営業所
〒812-0062 福岡県福岡市東区松島1-15-28 ☎0120-104-557

mamo-hada だけの「0ゼロ添加」低刺激処方

肌への優しさを追求し続けることが 私たちの最大のテーマです。

アレルギー肌のお悩みを解決する

敏感肌 スキンケア シリーズ



まも肌 ベビー泡ソープ 400mL / 【10か月用】350mL (※中から選別)
まも肌 ベビーミルククリーム 120g / 60g (※中から選別)
まも肌 ベビーUVエアークリーム 50g (※中から選別)
まも肌 トライアルセット ベビー泡ソープ (30mL) + ベビーミルククリーム (15g)

mamo-hada 「0ゼロ添加」低刺激処方

より安心してお使い頂くために

まも肌は、外部専門機関で複数のテストを実施しています。

- 皮膚刺激性試験(アレルギーテスト)済み
- 敏感肌対象パッチテスト済み
- スティンギングテスト済み
- 皮膚科医監修による乳児対象使用テスト済み
- アトピー素因の方対象パッチテスト済み

※すべての方にアレルギーが起らないということではありません。

不使用成分

- 防腐剤
- 石油系界面活性剤
- キレート剤
- pH調整剤
- 着色料 (天然・合成)
- 香料 (天然・合成)
- アルコール
- 動物アレルギー成分

【製造販売元】株式会社日本免疫研
【商品に関するお問い合わせ】株式会社未来 TEL 03-5148-1007

日本免疫研は、認定NPO法人アトピー地球の子ネットワークの活動を応援しています

ママと赤ちゃんのコンビニエンス

●● 産科用品の自動販売機 ●●

院内サービスショップとして
24時間いつでも利用していただけます。

GLORY
汎用販売機 AE-20V

- 1台で90品目販売、豊富な品揃えができます。
- 販売価格は5,000円まで。もちろん、千円紙幣も使えます。
- 売上集計もワンタッチで、ジャーナル印字も行えます。

陳列コラムを回転させながら商品が選べます

↓

投入金額以内の陳列コラムの扉を1つだけ開けて商品を取り出せます



外形寸法: (W×D×H)
800×685×1830mm・重量150kg

企画・発売元
SEBE セベ産科用品株式会社
〒812-0016 福岡市博多区博多駅前4丁目11-11 TEL (092) 472-4316

産褥社 (胎盤処理)

〒811-1313
福岡県福岡市南区日佐3丁目
34-16

TEL : 092-581-6588

代表 : 村上 士朗



会員募集

一般社団法人 福岡県助産師会では、会員を募集しております！！

ご友人や職場の方をお誘いし、一緒に活動してみませんか？

入会をご希望される方は、下記 QR コードより福岡県助産師会ホームページにアクセスし

【助産師の方へ】⇒【入会案内のページ】にお入りください。

または、下記担当者への連絡をお願いいたします。



【福岡県助産師会 会計 山口美津枝】

住所：〒807-1134

北九州市八幡西区茶屋の原 4 丁目 1-12

電話：090-9607-3331

メールアドレス：3enyanko@gmail.com

おひとりでも多くの皆様の入会を心よりお待ちしております。

【編集後記】

今年度最後のニュースレターとなります。次年度に向けて助産師への期待が助産師会の活動の拡がりに繋がっていることを感じます。今回も充実版をお届けできることを嬉しく思います。

広報・渉外委員 安河内・新・原武・阿部・伊与田

一般社団法人 福岡県助産師会 ニュースレター 第 86 号 2025 年 3 月
発行人 一般社団法人 福岡県助産師会 会長 佐藤 香代

〒810-0014 福岡県福岡市中央区平尾 1-3-41

電話・FAX 092-521-2025 <https://jyosanshi.net>